

2学期の学校評価の結果と今後の取組

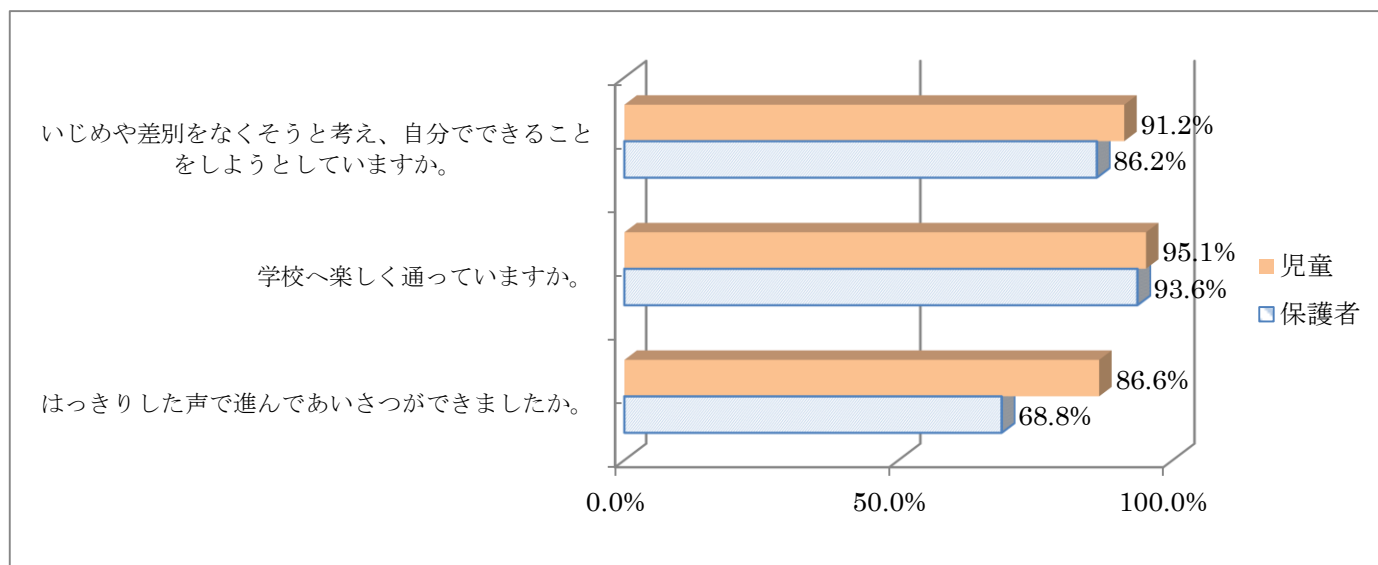
今年度もよりよい学校づくりを目指し、2回目の学校評価をお願いしました。御多用な中、御協力いただきありがとうございました。結果と今後の取組をお知らせいたします。

心づくり 互いのよさや違いを認め、思いやりの心をもってかかわる子ども

【成果】

「学校は楽しいですか」「いじめや差別をしないよう行動していますか」の質問には、9割以上の児童が肯定的評価を表しています。例えば、なかよし班（縦割り班）活動では、高学年が低学年に合わせてみんなが楽しめるように活動を計画したり、子どもたちが互いに感謝の気持ちをもって活動をしたりできました。

今後も、人権教育・同和教育を通して、どの子どもも安心して学校生活を送れるような指導を続けたいと思います。



【課題】

今年度も一月交代で学年が主体になり、あいさつ運動を行いました。春から継続して子どもたちも意欲的にあいさつに取り組んできました。児童の意識は高まってきていると思いますが、子どもたちが時や場面に応じてあいさつができるようになることが必要であると思います。今後も、学校内での来客に対するあいさつや対応の仕方について取り組みを進めて行きたいと思います。御家庭でも、ぜひ、地域の方とあいさつをするよう勧めてください。

今後も、人権教育・同和教育を通して、どの子どもも安心して学校生活を送れるような指導を続けたいと思います。

学びづくり 進んでかかわる中で、自分の考えを深め、表現する子ども

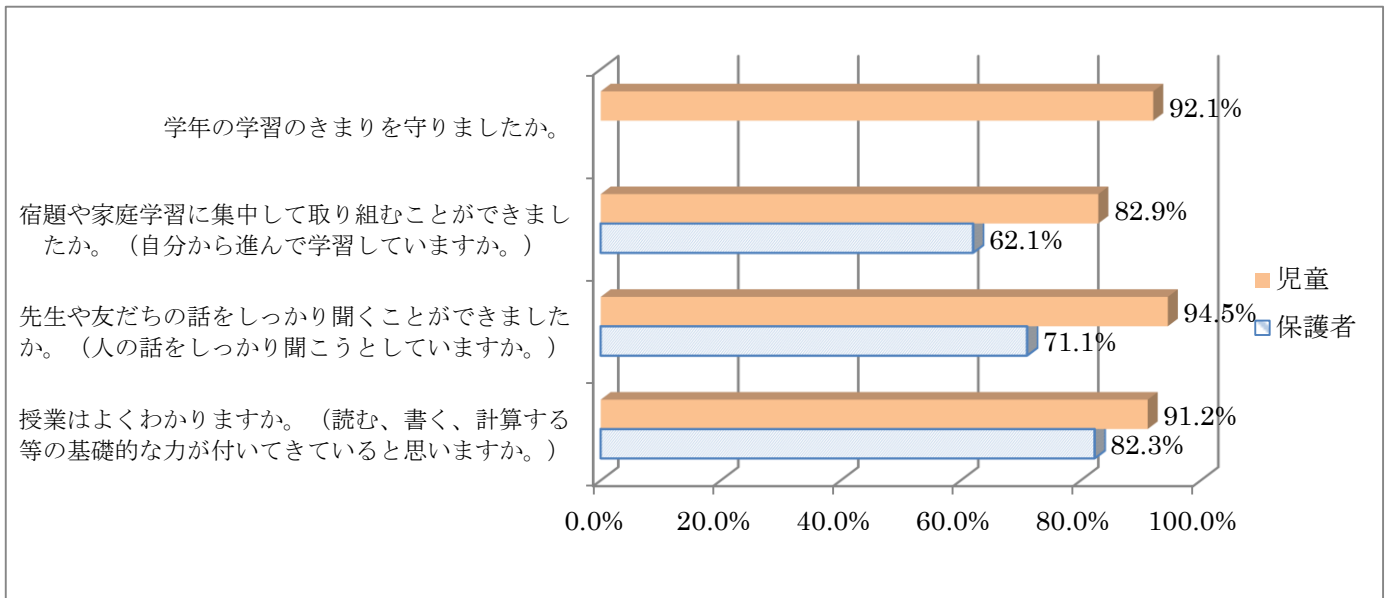
【成果】

子どもたちが学習に意欲的に取り組もうとする姿勢がアンケートから伺えます。「授業がよく分かる」児童が9割を超えています。また、「放課後パワーアップ教室」も定着してきて、たくさん子どもたちが短い時間に意欲的に学習に取り組む様子が見られます。

【課題】

児童アンケート結果では、「宿題や家庭学習に集中して取り組むことができましたか」では、8割以上の結果を示している一方、保護者アンケートでは、6割です。また、「人の話をしっかり聞こうとしていますか」では、9割程度、保護者アンケートでは、7割と差がみられます。

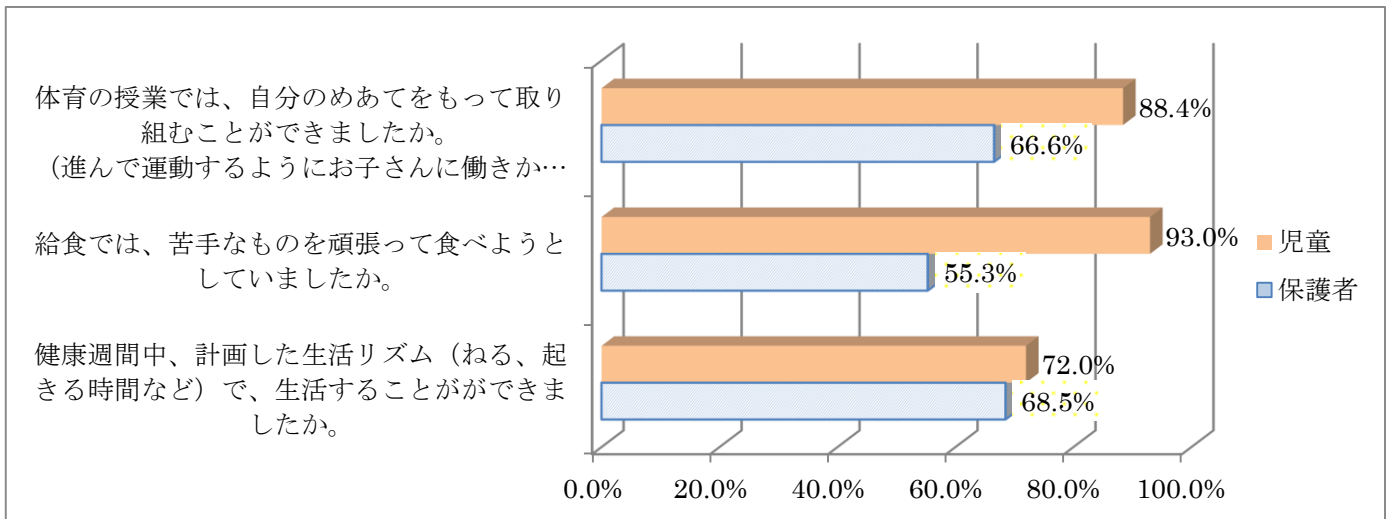
授業では、聞く、話す活動を工夫し基礎・基本の定着に力を入れています。また、家庭学習については、学年に応じた指導を行っていきます。



健やかな体づくり たくましく生きるための健康と体力を自ら高めようとする子ども

【成果】

学校では、体力向上のために各種カードを利用し、児童の課題を明確にし、自分のめあて達成のために意欲的に取り組んでいました。メディア接触コントロール週間には、自分の決めた生活リズムに合わせて過ごせるように取り組む姿勢がみられてきました。



【課題】

「食」に関するアンケートでは、子どもたちは9割がよい評価をしていますが、保護者は6割弱程度で、差が見られます。子どもたちの正しい食生活のために、苦手な物も食べる機会を増やすことも必要です。保護者の皆様からも引き続き御協力をいただきたいと思います。

メディア利用時間のコントロールが思うようにいかない児童もまだまだ多いようです。特に、夜遅くまでテレビを見たりやゲームをしたりしていて、次の日に影響してしまう子どもたちもいます。規則的な生活のリズムが作れるよう保護者の皆様からの御協力をお願いします。

子どもたちには、健康な身体づくりはいろいろな面に関連が深いということを理解させ、規則的な生活リズムで過ごすことへの意識を高めるとともに、個別指導も行っていきます。